

指導資料



鹿児島県総合教育センター

情報教育 第110号

— 小、中、高、特別支援学校対象 —

平成19年10月発行

学校ホームページの管理・運営の在り方

学校ホームページは、学校の教育内容の重要な発信源であるとともに、保護者や地域との連携を図り、「開かれた学校」を実現したり、「特色ある学校づくり」の情報を公開したりするなど、その説明責任を果たす大きな役割を担っている。また、保護者にとっても、学校の教育活動や児童生徒の様子を容易に知ることができる。

平成18年度末に、文部科学省がまとめた「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」によると、本県における各校種ごとの学校ホームページ開設率は、小学校 72.5%、中学校 69.4%、高等学校 94.1%、特別支援学校 100.0% (全体 74.0%) となっている。

学校ホームページの管理・運営は、担当者だけに任せられると、担当者が授業を受け持ちながら時間を見つけての作業であったり、新しい情報発信をしようと思いつつも企画に苦労したりするなど、その校務を負担と感じてしまう。

そこで本稿では、職員が誰でも作成・更新ができるようにするために、学校ホームページの管理・運営及び学校における児童生徒の個人情報の保護等に配慮したガイドライン等の作成例を示し、その在り方について述べる。

1 学校ホームページの管理・運営について

学校ホームページの作成・更新においては、あらかじめ公開の対象者を絞り込み、どのような情報が求められているかを踏まえつつ構成を考える必要がある。

また、担当者の判断でページを作成し公開することのないように、事前に検討する委員会等を設置することが大切となる。

(1) 学校ホームページ管理・運営委員会の設置

学校ホームページの基本的な内容や位置付けを学校内で共通理解しておかなければ、ホームページの作成・更新にあたって、学校の特色が効果的に示されなかったり、児童生徒のプライバシーの侵害などを招いたりする恐れがある。

公開にふさわしい内容にするためには、それに係る委員会等を設置することが望まれる。

このことにより、「公開の対象者を誰と考えるか」、「ホームページに求められている情報は何か」などの具体的な基準を話し合う機会を設定でき、担当者の負担も軽減することができる。

(2) 学校ホームページで発信する情報

各学校において「開かれた学校」を目指すためには、保護者や地域に適切な情報を発信することが重要となる。

そこで、学校ホームページを作成する際は、学校の安全確保、個人情報・著作権保護などに配慮することが大切となる。

ここでは、必要と思われる情報発信項目を示す。

ア 年に1回程度更新する情報発信項目

(ア) 学校基本情報

電話・FAX番号、メールアドレス、住所、地図（アクセス案内）など

(イ) 学校概要情報

校長挨拶、校歌、沿革・歴史など

(ウ) 保護者向け情報

緊急時対策、連絡・避難方法など

(エ) 教育計画情報

教育目標と方針、年間行事など

(オ) その他

学校ホームページガイドライン、インターネット利用規定など

イ 更新が定期的（学期・月ごと）に求められる情報発信項目

(ア) 児童生徒の活動情報

学年・学級通信、児童会・生徒会だより、委員会活動報告など

(イ) 保護者への提供情報

学校・PTA だより、学年・学級だより学校行事、給食メニューなど

(ウ) 学習内容に関する情報

研究発表、学習の成果の報告など

(エ) その他

イベント、学校行事の報告など

学校ホームページの運営には、全職員で取り組む体制作りが必要となる。

また、次年度を見通して担当者を複数とし、作成・更新に係る手順等を引き継げるように配慮することも重要となる。

2 情報発信の工夫と注意点

ホームページによる情報発信においては、無理をせず簡単な方法や内容で公開し、更新を定期的なものにすることが大切となる。

(1) PDFファイル等の有効活用

定期的に保護者向けに作成し配布する印刷物等については、PDFファイル形式に変換してリンクをはったり、イメージスキャナ等で読み取り画像ファイルに変換したりして、ホームページのコンテンツとして発信することで業務の効率化とデータの有効活用を図ることができる。

(2) デジタル画像の活用

児童生徒の制作作品や学習成果の発信などは、デジタルカメラ等を利用し画像ファイルとして掲載する手段が有効である。

また、学校行事の活動報告等も画像のはり付けと簡単なコメントで紹介するなどの工夫により情報を発信することができる。

(3) 個人情報等への配慮

個人情報等には十分留意し、児童生徒の顔写真が大写しになっていたり、個人名が特定できるようなページになっていたりしないように配慮することが必要である。

また、このことは担当者だけで安易に判断しないよう注意することが大切である。

3 フォルダを利用したホームページのファイル管理について

ホームページの更新の際に、多くのファイルが一つのフォルダの中に保存されていると、どのファイルが何のファイルかわからない場合がある。また、ファイルがどのページとリンクされているのか不明となり、更新がうまくいかない要因となってくる。

そこで、解決策の一つとしてサイトマップ（ホームページのリンク構造を視覚的に表した図）を作り、各ページごとにフォルダを作成して、各フォルダに分かりやすいファイル名を付け、トップページはすべて「top.htm」と名前を付けて管理する。

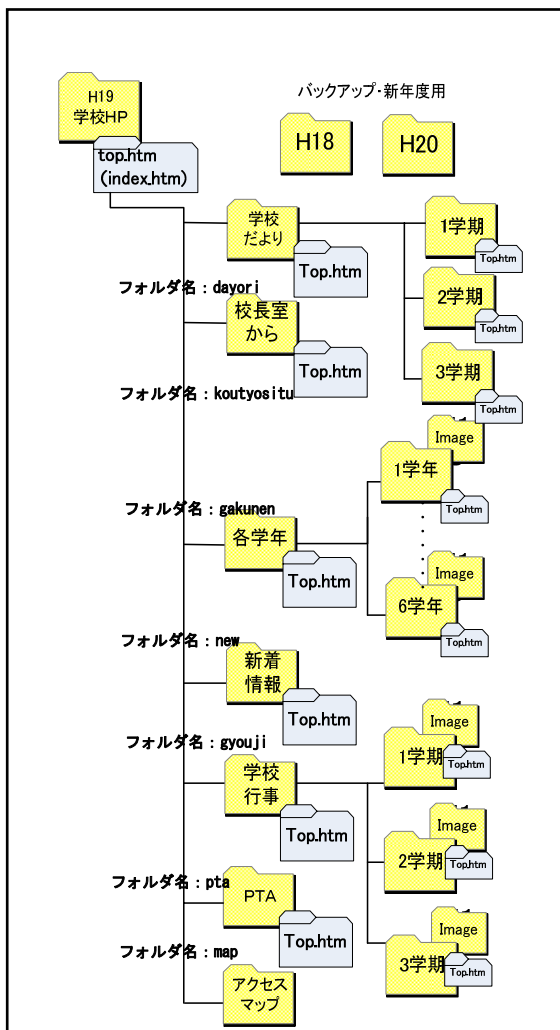


図1 サイトマップに示したフォルダの管理状況

ファイルをフォルダで管理することの利点は次のとおりである。

(1) ホームページ作成の効率的な分担化

担当者それぞれにホームページの作成を分担し、その後、フォルダをまとめることにより、作成に係る業務の分担が図られ、更新を円滑に行うことができる。

(2) ファイル転送に関する作業の効率化

ファイルの転送作業においては、更新した関係ファイルのみを転送することで更新の効率化が図られる。

また、フォルダごとに転送をすることも可能であり、担当者以外も更新できるので業務の効率化につながる。

(3) ファイル管理の容易性

作成したファイルは種類ごとにフォルダを作成しておく管理しやすい。

例えば、各ページで使用されている画像ファイルは、まとめて「image」フォルダとすることにより、画像ファイルの管理がしやすくなる。その他、ファイル名等は誰もが分かりやすい名前で示し、一覧表にまとめると利用しやすくなる。

また、ファイル名が「漢字、ひらがな、全角文字」で付けられていると学校のパソコンの画面上では表示されても、インターネット上では表示されないというトラブルが生じる。そこで、ファイル名は、「半角英数字の小文字」としなければならない。

さらに、バックアップ等の役割を果たすためには、各年度ごとにフォルダを作成し、管理することが望ましい。

4 学校ホームページガイドラインの例

全職員が情報発信を行う体制を作り、共通理解を図るためには、学校ホームページ作成に関するガイドライン（校内規定）を作成することが必要となる。そこで、学校ホームページの管理・運営を委員会が中心

となって行い、ガイドラインの中に開設の目的や個人情報の取扱い等についても細かく明記し、その内容を学校ホームページ上に公開している薩摩川内市立水引小学校の例を示すので参考にされたい。

水引小学校ホームページ運営ガイドライン

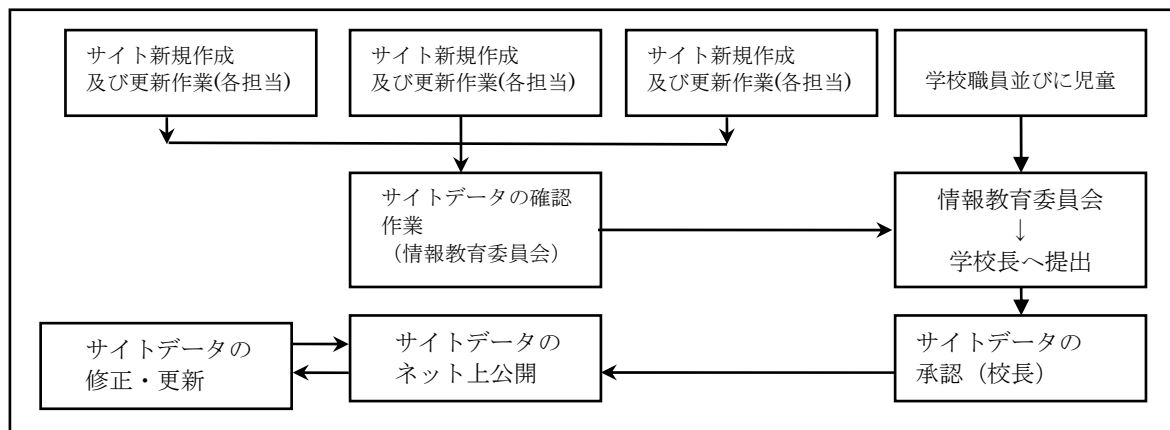
1 ホームページ開設の目的

- (1) 本校の教育活動を一般に広く公開し、学校教育に対する理解と協力を得るとともに、開かれた学校の実現に努める。
- (2) 学校の教育活動の様子を発表するだけでなく、児童の作品の発表の場や児童の情報活用能力の向上の手段とする。
- (3) 他校との交流の場とし、情報の交換や親交を深め、学校教育の充実を図る。

2 管理責任者 学校長

3 運営責任者 情報教育委員会(教育情報取扱担当者)

4 ホームページ運営過程



5 運営上の留意事項

- (1) 児童の個人情報を漏洩しない。〔住所、氏名、電話番号など〕
- (2) 個人を特定できる写真は、掲載しない。(運営上必要な場合は、画像の解像度を下げるなど工夫すること。)
- (3) 児童の作品を掲載する場合は、本人や保護者に掲載の承諾を得る。
- (4) フリー素材以外の画像やデータ等の再利用や他のホームページへのリンク等は、著作権や肖像権に十分留意する。〔電子メール等での承諾やアドレスの記載を徹底する。〕
- (5) 電子メールの送受信や電子掲示板への書き込みなどは、教師側で内容を確認し、トラブルを未然に防ぐようにする。同時に児童のネチケットの向上に努める。
- (6) 公式ホームページであることを念頭に置き、公開しているデータはできる限りの確認を取り、信憑性を高める。また、誤りが発見された場合は、直ちに修正作業を行う。

6 その他

- (1) 教職員の私的なホームページでは、児童の個人情報や学校名を用いた情報を公開できない。
- (2) 定期的に更新に努める。
- (3) ガイドラインの改廃は、職員会議等で検討修正を行い、学校長の承認を得るものとする。

参考 URL [薩摩川内市立水引小学校 <http://www.edu.satusmasendai.jp/mizuhiki-e/index.html>]

なお、情報発信手段としての学校ホームページの在り方については、指導資料（通巻第1413号）で取り上げている。本号と併

せて活用され、定期的に学校ホームページの更新を行い、積極的に情報発信に取り組んでいただきたい。（情報教育研修課）